

# 平成22年度 事業評価（事業活動記録）

事業No. 726

所管部局	教育委員会	所管課	社会教育課	担当者名	大西 敏之
事業名	施設管理運営費			事業分類	ソフト事業
細事業名	図書館システム等			政策体系	131
会計	一般会計	科目	10.教育 - 5.社会 - 3.図書		

## 1. 事業の概要

図書館システムに係る、ソフト及びハードに対する保守委託全般

## 2. 事業の目的と必要性

### ①施策で目指す目標との関連付け

図書館運営の根幹であるシステムの保守管理を行い、市内4施設及び京都府内の図書館との連携を図り、円滑に図書館運営を行う。

### ②事業を実施する必要性

資料の貸出・返却から、利用者管理・蔵書管理など図書館運営は図書館システムにより管理しており、システム保守管理が必要であるため。

## 3. 事業費の推移

	単位	平18決算	平19決算	平20決算	平21決算	平22予算	平23計画	平24計画
決算額または計画額	千円	2,708	1,283	2,437	2,314	2,315	2,315	2,315
うち一般職・嘱託職・臨時職の給与および共済費等	千円	0	0	0	0	0	0	0
財源内訳	使用料・手数料等	千円	0	0	0	0	0	0
	国・府支出金	千円	0	0	0	0	0	0
	地方債	千円	0	0	0	0	0	0
	一般財源	千円	2,708	1,283	2,437	2,314	2,315	2,315
職員等の従事人員	人/年	—	—	0.35	1.50			
人件費	千円	—	—	1,065	3,975			
事業費総額	千円	—	—	3,502	6,289			

※事業費を要しない場合は「0」、事業を実施しない場合は「空白」で表示。  
 ※千円未満を四捨五入し表示しているため、合計等が一致しない場合がある。

## 4. 主な事業費の内訳

・ソフト及びハード保守料金 2,314,116円

## 5. 事業結果の概要

図書館システム年間保守  
 中央図書館(園部)  
 八木図書室  
 日吉図書室  
 美山図書室

## 6. 活動の詳細

活 動 内 容	活動日又は時期	活 動 結 果 等
(1) 現状		
図書館システムの納入業者であるNECと連携し、図書館システムの円滑な稼働を行っている。19年度より全館で運用している新しい図書館システムも数年経過し、導入当初は操作方法の不慣れや、小さなトラブルも生じたが、現状では図書館職員も操作に慣れ円滑に運用されている状況である。NECより定期的に、システムに対する微調整や不要データの処理を行うとともに、図書館側からの要望に対して、可能な限りのカスタマイズを行っている。図書館システムにおいては、約19万点に及ぶ資料のデータだけでなく多くの市民の個人情報も扱っているため、安全で円滑なシステム運用に努める。	不定期	円滑なシステム運営が行われている

## 7. 所属長評価 [平成20年度から改善した点、今後の展開など]

システム導入によるメリット（市内4施設や府内施設との連携）を活かした図書サービスの展開。  
図書システムの年間保守金額について、業者との折衝により減額に努めた。  
さらなるサービス向上を図る必要がある。

### 【参考】過年度の評価

#### ■平成21年度の所属長評価

- ①有効性・効率性を向上させるため、担当職員と議論を重ねた点  
システム導入によるメリット（市内4施設や府内施設との連携）を活かした図書サービスの展開。
- ②当該事業のアピール事項  
図書システムの年間保守金額について、業者との折衝により減額に努めた。
- ③反省点、今後の展開・方向性等  
さらなるサービス向上を図る。